

令和4年度 第12回牧区地域協議会 次第

日時：令和5年3月20日（月）

午後6時から

会場：牧区総合事務所301会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 上越市が所有する日帰り・宿泊温泉施設のサウンディング型市場調査の結果
について（行政改革推進課） 資料No. 1

(2) 令和5年度の牧区に関する事業について 資料No. 2

(3) 令和4年度「灯の回廊」の開催結果について 資料No. 3

(4) 学校適正配置に係る牧小学校保護者との意見交換会について . . . 資料No. 4

4 協議事項

(1) 令和5年度牧区地域協議会年間スケジュールについて 資料No. 5

5 自主的審議事項

(1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について . . 資料No. 6

6 その他（連絡事項）

- ・ 柿崎区地域協議会からの意見書提出について
- ・ 「牧区地域協議会だより（第57号）」3月25日号発行について

7 閉 会

・ 次回（令和5年度第1回牧区地域協議会） 月 日（ ） 時 分～

上越市が所有する日帰り・宿泊温泉施設のサウンディング型市場調査の結果について

上越市では、民間活力を生かした施設の有効活用に向け、市場性の有無や施設の譲渡・事業の継続に向けた条件整理を行うとともに、民間事業者の経験やノウハウに基づく施設の利用促進策など幅広い提案を踏まえ、施設の今後の利活用の方向性を決定するため「上越市が所有する日帰り・宿泊温泉施設の有効活用に係るサウンディング型市場調査」を実施しました。

今回、その結果がまとまりましたのでお知らせします。

なお、くわどり湯ったり村については、別途指定管理者の公募手続きを進めることとなったことから、記載していません。

1 調査の対象施設

No.	施設名（条例上の名称）	主な機能
1	牧湯の里深山荘	宿泊、日帰り温泉、レストラン
2	柿崎マリンホテルハマナス	宿泊、日帰り温泉、レストラン
3	大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館	日帰り温泉、レストラン、プール
4	吉川ゆったりの郷	日帰り温泉、レストラン
5	ゑしんの里やすらぎ荘 （板倉保養センター）	宿泊、日帰り温泉、レストラン
6	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ【休止中】	日帰り温泉、レストラン

2 主な調査スケジュール

	項目	実施日
1	実施要領の公表	令和4年9月26日（月）
2	事前説明会	令和4年10月13日（木）
3	個別見学会	令和4年10月26日（水） ～10月28日（金）
	フリー見学会	令和4年10月13日（木） ～11月25日（金）
4	市場調査（対話）	令和4年12月8日（木） ～12月14日（水）

3 サウンディング型市場調査の結果

(1) 参加事業者数（共同提案を含む）

No.	施設名	事前説明会	現地見学会	市場調査 （対話）
1	牧湯の里深山荘	/	2	0
2	柿崎マリンホテルハマナス		3	2
3	大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館		3	2
4	吉川ゆったりの郷		4	4
5	ゑしんの里やすらぎ荘		2	1
6	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ【休止中】		1	0
計		10	15	9

(2) 施設別の提案の有無

No.	施設名	①民営化による施設活用の提案	②現状の公設民営による運営を前提とした施設の利用促進等に係る提案
1	牧湯の里深山荘		
2	柿崎マリンホテルハマナス	○	○
3	大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館		○
4	吉川ゆったり郷		○
5	ゑしんの里やすらぎ荘		○
6	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ【休止中】		

(3) 提案の概要

① 民営化による施設活用の提案
<ul style="list-style-type: none">施設コンセプトの転換交付金等を活用した大規模改修
② 現状の公設民営による運営を前提とした施設の利用促進等に係る提案
<ul style="list-style-type: none">施設コンセプトの変更や明確化とそれに伴う改修現状サービスの見直し（一部機能の休止や機能の追加等）による運営の効率化営業時間の変更温浴機能以外の施設の機能転用利用料金の変更の提案自社事業と連携した利用者の呼び込み複数の対象施設の運営による合理化の提案
③ その他の提案
<ul style="list-style-type: none">周辺関係施設を一体とした施設運営専門事業者としての助言、事業協力者の紹介

令和5年度 牧区に関する事業一覧

※令和5年度当初予算額は、令和4年度からの繰越及び1月・3月の補正を含む。

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
					834,515	932,811	98,296	
総務・地域振興グループ					684,448	777,950	93,502	
1	継続	総務管理課	庁用事務費等関係費	牧区	1,679	1,323	△ 356	○牧区総合事務所で使用する事務的経費を一括管理する。 ・庁用自動車経費 1,162千円 ・事務用経費 161千円
2	継続	総務管理課	文書法務費 ・文書事務用経費	牧区	1,605	1,447	△ 158	○牧区総合事務所で使用する事務用紙や郵便、複写機の借上げなどを一括管理する。
3	継続	交通政策課	地域公共交通運行対策費 ・バス運行対策費補助金	牧区	22,909	23,020	111	○児童・生徒の通学や高齢者の通院など、市民の日常生活を支える重要な交通手段である路線バスの運行に対し補助を行い、生活交通を維持・確保する。 ・路線バス宮口線 23,020千円
4	継続	市民安全課	交通安全施設費 ・カーブミラー新設工事 ・修繕工事	全域			0	○カーブミラー等交通安全施設の整備及び維持管理を行い、交通事故の発生の防止を図る。 市全体事業費:3,416千円 区毎の積算なし
5	継続	市民安全課	街灯整備・維持管理費 ・防犯灯設置工事	牧区	1,606	297	△ 1,309	○通学路安全確保のため防犯灯を設置する。 ・設置箇所:牧中学校下 1灯
6	継続	危機管理課	消防団員費 ・消防団員年額報酬	牧区	4,161	3,685	△ 476	○地域の消防防災活動を担う消防団員に報酬を支給し、災害対応や訓練等、円滑な消防団活動を推進する。 牧区方面隊 98人
7	継続	危機管理課	消防施設管理費 ・消防車点検管理費 ・消防器具置場維持管理 ・消防水利施設(消火栓・防火水槽)の維持管理	牧区	1,672	1,579	△ 93	○牧区に配置されている消防車12台の点検管理、各消防器具置場の維持管理及び消防水利の営繕修繕にかかる経費。 ・消防自動車点検管理費 1,315千円 ・消防器具置場維持管理費 264千円
8	継続	危機管理課	消防施設整備事業 ・消防水利施設(消火栓、防火水槽)更新等	牧区	0	0	0	○消火活動に不可欠な消防水利施設の更新、整備を行い、消火活動が迅速かつ確実に行うことができる環境を整備する。 ・牧区は本年度更新なし 市全体事業費:72,703千円
9	継続	危機管理課	水防管理費	牧区	20	19	△ 1	○集中豪雨等による災害発生時において、迅速に水防活動を実施し、被害を最小限にとどめるため、必要な施設や資機材を整備・管理する。 ・水防庫電気料 4千円 ・土地借上料 15千円

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
10	継続	危機管理課	災害対策費 ・防災行政無線設備修繕料・設置手数料	牧区	136	286	150	災害時における重要な通信手段である防災行政無線システムを適切に維持管理し、災害時等における通信手段を確保する。 ・戸別受信機修繕 60千円 ・戸別受信機設置 28千円 ・岩神子局用地支障枝剪定
11	継続	共生まちづくり課	町内会関係費	牧区	2,746	5,420	2,674	○町内会活動に資する情報提供及び補助事業により町内活動を支援し、活力ある地域づくりを推進する。 ・町内会事務委託 2,360千円 ・集会場整備費補助 3,060千円(6集落)
12	継続	自治・地域振興課	区総合事務所管理費	牧区	6,290	6,291	1	○牧区総合事務所庁舎の維持管理を適切に行う。
13	継続	共生まちづくり課	ふるさと交流等関係費	牧区	45	45	0	○旧牧村出身者で構成される郷人会「東京牧村会」との情報交換や交流を深めるため、総会及び役員会へ出席する旅費を負担する。
14	継続	自治・地域振興課	地域協議会費	牧区	298	299	1	○地域協議会の活動を通じて、地域住民の意見を市政に反映させ、市民主体のまちづくりの実現を目指す。
15	継続	自治・地域振興課	コミュニティプラザ管理運営費	牧区	13,385	14,416	1,031	○牧コミュニティプラザを拠点とし、地域住民による自主的・自立的な地域づくり活動を促進する。 ・2階研修室エアコン入替工事 ・消耗品、光熱水費、施設管理委託料ほか
16	継続	自治・地域振興課	地域振興事業 ・牧区地域振興事業	牧区	1,489	1,471	△ 18	○地域振興に資する事業の実施を通じ、個性をいかした地域の活性化を図る。 ・牧まつり補助金 1,471千円
17	継続	自治・地域振興課	地域振興事業 ・諸会議懇親負担金	牧区	109	103	△ 6	○規約等を有し活動実態のある団体の会議懇親負担金等を負担する。
18	継続	自治・地域振興課	地域振興事業 ・総合事務所管内施設緊急修繕	牧区	900	900	0	○所管施設において、市民からの要望や緊急で対応しなければならない修繕を行う。
19	継続	自治・地域振興課	中山間地域振興事業 ・地域集落支援事業 ・地域おこし協力隊活用	牧区	7,254	7,702	448	○中山間地域における集落の暮らしを守り、さらには集落の活力の維持・向上に向け、集落の実情に応じた支援を行う。 ・集落づくり推進員の配置 3,037千円 ・地域おこし協力隊の活用 4,665千円
20	新規	自治・地域振興課	【地域独自の予算】 つながりと地域愛を育む情報発信事業(補助) 実施主体:NPO 法人 牧振興会	牧区	0	306	306	○NPO法人牧振興会のホームページやインスタグラムを活用し、牧区の暮らしや若い世代の活動を発信することで、区内でのつながりと関係人口増加につなげる。

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
21	新規	文化振興課	【地域独自の予算】 川上山里の風コンサート(補助) 実施主体:川上地区協議会	牧区	0	413	413	○地域の宝物として維持管理している「川上会館」(旧川上小学校木造体育館、国登録有形文化財)を活用し「川上山里の風コンサート」を開催することで、地域の活力維持と郷土愛を育む。
22	継続	産業政策課	産業振興総務管理費 ・中小企業振興対策費補助金	全域			0	○13区商工会が行う経営改善普及事業を始めとする各種事業を支援するほか、市内商工業の振興と中小企業の経緯の安定化を図る。 ・上越市商工会連絡協議会補助金45,326千円 協議会で配分のため金額未定
23	継続	観光交流推進課	観光振興対策事業	牧区	329	329	0	○牧区における観光振興対策事業(H30から、牧地域づくりふるさと協会を統合) ・消耗品費 43千円 ・牧ふるさと観光振興会補助金 286千円
24	継続	観光交流推進課	観光企画費 ・信越トレイル利用促進事業	複数区			0	○信越トレイルコースとその周辺施設へ利用者増加に繋げるためPRを行う。 市全体事業費:53千円 区毎の積算なし
25	継続	観光交流推進課	観光企画費 ・灯の回廊事業	複数区			0	○上越市の冬の一大イベントとして、市内各区の雪灯りイベントを繋ぎ合わせて一体的にPRすることで、相乗効果により誘客促進を図る。また、参加型、体験型のイベントとすることで、宿泊客数の増加を図る。 市全体事業費:6,172千円 区毎の積算なし
26	継続	観光交流推進課	越後田舎体験推進事業	複数区			0	○豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしを生かした体験型観光を推進し、交流人口の拡大を促進するとともに地域の活性化を図る。 市全体事業費:8,203千円 (消耗品費-牧、清里、板倉:152千円) 区毎の積算なし
27	継続	施設経営管理室	観光施設等整備事業	牧区	773	1,671	898	○弘法清水公園の管理 ○観光看板の管理 ○信越トレイル接続道維持管理 消耗品費 4千円 光熱水費 40千円 修繕費 361千円 手数料 139千円 公園等管理委託料 1,052千円 土地借上料 75千円
28	継続	施設経営管理室	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費	牧区	2,717	3,234	517	○民芸加工品、特産品、郷土民俗資料等を収集し保存保護に努めるとともに、伝統的文化遺産の保存にも連なるよう、民芸の担い手である老人たちが、青年に技術を伝授することもできる場とする。
29	継続	施設経営管理室	牧ふれあい体験交流施設管理運営費	牧区	2,904	2,824	△ 80	○都市と農村との交流事業、地域づくり事業、食体験などの体験型観光施設として、地域の特性及び資源を活用した都市部の住民との交流促進を図る。(R2年度から随時開館に変更。利用申込みは施設で毎週火、金の午前9時から12時まで受付。ファックス等でも可。) ○令和5年度から旧ふれあい農園管理経費を当事業で計上

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
30	継続	施設経営 管理室	観光施設等管理事業 ・牧湯の里深山荘管理 運営費	牧区	24,699	23,686	△ 1,013	○当市を訪れる観光客や市民に安らぎと 憩いの場を提供し、市民の交流促進ととも に観光客の増加を図る。 ・指定管理委託料 18,171千円 ・修繕料 5,056千円 ・通信費、機械借上料他 459千円
31	新規	観光交流 推進課	【地域独自予算】 地域活性化促進事業 (まき深山のともしび) (補助) 実施主体:牧区地区協 議会連絡会議	牧区	0	787	787	○冬の一大イベントである「灯の回廊 ま き深山のともしび」を牧区全体で取組み、 賑わいを創出するとともに、地域の魅力を 発信し区内外に交流の輪を広げる。
32	新規	施設経営 管理室	【地域独自予算】 沖見地区観光拠点づ くり事業(補助) 実施主体:レストハウス 「けやき」周辺整備の 会	牧区	0	295	295	○沖見地区の玄関口である「ふるさと村自 然と憩の森」を地域の観光拠点とするた め、花の植栽や遊歩道の整備を行うこと で区内外からの来訪者を誘客する。
33	継続	道路課	道路維持費	牧区	94,753	56,290	△ 38,463	○道路の損傷箇所の修繕、道路清掃、除 草等を実施し、一般交通に支障を及ぼさ ないよう安全な市道の維持管理を行う。 21,631千円 ○異常気象等によらず被災した市道の復 旧等を行うため、緊急自然災害防止対策 事業債を活用しながら復旧及び災害発生 防止対策工事を行う。 令和5年度当初予算 3,364千円 令和4年度繰越予算 31,295千円
34	継続	道路課	道路維持費	牧区	28,864	0	△ 28,864	○市道舗装の計画的修繕の減
35	継続	道路課	道路維持費	牧区	251	253	2	○道路の外側線の計画修繕を行う。 ※令和4年度債務負担により前倒しで実 施
36	新規	道路課	道路維持費	牧区	0	30,811	30,811	○市道牧飯山線のモルタル吹付の健全 度調査と崩落部分の復旧対策工法の検 討を図る A= 7,200 m ² ※1月補正予算
37	新規	道路課	橋梁維持費	牧区	0	3,399	3,399	○長畑橋(市道宇津俣府殿線)につい て、点検結果に基づき適切な修繕を行 い、施設の長寿命化を図る。
38	新規	道路課	道路橋梁災害復旧費	牧区	0	19,306	19,306	○被災した市道復旧工事を早急に行い、 生活道路の一日も早い復旧を図る。 ・岩神新田線 ・居平線
39	継続	道路課	道路管理総務費	牧区	1,859	0	△ 1,859	○未登記処理に係る委託料の減

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
40	継続	道路課	除雪費	牧区	244,016	290,828	46,812	○冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行うとともに、路面凍結防止対策を実施する。 ・市道除排雪委託料 187,920千円 ・除雪ドーザ(14t級) ・ロータリ除雪車(2.6m級) ・消耗品 2,108千円 ・備品修繕料等 9,006千円 ほか
41	継続	河川海岸 砂防課	砂防事業費 ・地すべり巡視業務	牧区	1,108	1,108	0	○新潟県地すべり巡視業務委託要領に基づき、地すべり発生の危険性が高い区域において、地すべり巡視員による巡視活動を行い、地すべりの兆候や土砂の崩落を早期に発見し、土砂災害を未然に防止する。
42	継続	建築住宅 課	公営住宅管理運営費	牧区	1,551	2,617	1,066	○入居者が安全で安心して暮らせる住宅を供給するため、居住環境の維持向上を図る。 【特定公共賃貸住宅:小川12戸、東荒井8戸】 【一般公共住宅:柳島8戸】 ・電気料金(小川住宅外灯) 85千円 ・営繕修繕料(一般修繕牧区分) 1,500千円 ・ 〃 (入居前修繕牧区分) 600千円 ・手数料(小川住宅浄化槽水質検査) 26千円 ・施設管理委託料(柳島、小川、東荒井住宅 空き室3+2+4=9戸分) 406千円
43	継続	農村振興 課(中山間 地域農業 対策室)	中山間地域等活性化 対策事業 ・中山間地域等直接支 払交付金	牧区	113,815	114,685	870	○中山間地域集落の農業生産活動の取組を支援し、中山間地域農業の振興を図る。 協定農用地面積 457.6ha(R5見込) ※取組予定面積増
44	継続	農林水産 整備課	農業用施設等維持管 理費 ・多面的機能支払補助 金	牧区	18,783	17,723	△ 1,060	○中山間地域集落の農業生産活動の取組を支援し、農業用施設等の維持管理を図る。 協定農用地面積 336.5ha(R5見込) ※R4取組予定面積と実績における乖離 による減
45	継続	農村振興 課(中山間 地域農業 対策室)	中山間地域等活性化 対策事業 ・中山間地域振興作物 生産拡大事業補助金	複数区			0	○中山間地域の荒廃農地や保全管理地にそばや山菜等高収益作物を栽培することで、中山間地域の農業所得向上と農地保全を図るための費用を助成する。 ・上越市全体事業費 3,824千円 区毎の積算なし
46	継続	農村振興 課(中山間 地域農業 対策室)	中山間地域等活性化 対策事業 ・緊急消雪促進対策事 業費補助金	複数区			0	○春先の融雪が遅れた場合、中山間地域では農作業に遅延が生じ、農作物の安定生産に支障をきたすほか、消雪対策に要する農業者の負担増が見込まれることから、農業者の組織する団体等が行う消雪促進対策に要する経費を支援する。 ・上越市全体事業費 2,464千円 ┌ R5.4.1基準 1,016千円 └ R6.3.15基準 1,448千円 区毎の積算なし
47	継続	農村振興 課	川上笑学館管理運営 費	牧区	4,642	4,592	△ 50	○都市と農村の交流促進や農業体験ができる施設として、地域の特性及び資源を生かした体験学習の場を提供することにより、地域の活性化を図る。 ・消耗品費、営繕修繕料等 222千円 ・AED賃借料 78千円 ・指定管理委託料 4,292千円
48	継続	農政課	自然循環型農業推進 事業 ・環境保全型農業直接 支払交付金	牧区	3,376	3,364	△ 12	○化学肥料及び化学合成農薬の使用を地域慣行基準より5割以上低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の普及推進を図る。 ・R5取組見込 55.5ha

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
49	継続	農林水産 整備課	牧区農業用施設等維持管理費	牧区	735	881	146	○農業施設等の維持管理 ○農業農村整備支援用原材料支給の実施。 ※R5は池舟、上牧が要望 ・機械借上料 205千円 ・支援用原材料 676千円
50	継続	農林水産 整備課	土地改良事業 ・ため池等整備事業 (用排水施設整備) 棚広地区	牧区	4,000	5,120	1,120	○県が事業主体となり、実施するため池等整備事業に対して、市が事業費の一部を負担する。 ○受益面積26.8ha、用水路改修6箇所 ・県営ため池等整備事業負担金 ┌ R5当初分 2,240千円 └ R5.3月補正分 2,880千円
51	継続	農林水産 整備課	土地改良事業 ・農村地域防災減災事業	牧区	31,174	9,559	△ 21,615	○ため池廃止工事 ・廃止工事(1か所) 荒井地内 三郎治ため池
52	継続	農林水産 整備課	土地改良事業 ・中山間地域総合整備事業	牧区	5,200	6,110	910	○県が事業主体となり、実施する中山間地域農業農村総合整備事業に対して、市が事業費の一部を負担する。 ○受益面積73.0ha、用水路改修6箇所、暗渠排水7.0ha(東松ノ木、田島、棚広、泉団地) ・県営中山間地域総合整備事業負担金(実施設計調査費) ┌ R5当初分 1,118千円 └ R5.3月補正分 4,992千円
53	新規	農林水産 整備課	土地改良事業 ・団体営調査設計事業	牧区	473	7,667	7,194	○泉地区大池ため池改修 ・調査計画委託料
54	継続	農林水産 整備課	林業総務費 ・上越市緑の少年団育成会補助金	牧区	64	64	0	○牧緑の少年団の活動費の一部を支援する。 ・補助金 64千円
55	継続	農林水産 整備課	森林総合研究所分収林整備	牧区	1,650	1,705	55	○分収造林の整備(牧区宇津俣地区) ○内山団地 除伐 A=3.5ha ・委託料
56	継続	農林水産 整備課	牧区既設林道維持管理事業	牧区	6,817	41,727	34,910	○林道施設の機能を維持・保全する。 ・林道宇津俣線道路復旧工事 ・林道宇津俣線伸入橋梁修繕工事 ・安全施設設置撤去業務委託料 ・林道除草業務委託料 ・林道側溝清掃業務委託料 ・林道春先除雪業務委託料
57	継続	農林水産 整備課	農地、農業用施設災害復旧費	牧区	0	10,029	10,029	○災害発生に、速やかな復旧を図る。 ○市の発注とし、災害復旧費の補助労務に係る費用を負担金として農地、農業用施設ともに10%を地元から徴収する。 ・上越市全体事業費(融雪災害等) 25,000千円 ○公共災害 ・棚広 A=0.9ha 10,029千円
58	継続	農林水産 整備課	林業用施設災害復旧費	全域			0	○被災した林業施設の速やかな復旧を図る。 ・上越市全体事業費(災害復旧工事) 5,000千円 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">区毎の積算なし</div>

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
59	継続	生活排水 対策課	農業集落排水事業	牧区	19,477	16,524	△ 2,953	○農業集落排水処理施設の適切な維持 管理及び生活排水処理を行い、公共用 水域の水質保全を図る。 H15～H19 整備 ・接続率 68.7%R4年末見込み 1 管渠費 計 5,656千円 ・電気料金 1,626千円 ・委託料(中継ポンプ維持管理委託等) 2,922 千円 ・地元管理業務委託 136千円 ・土地賃借料(電柱用地) 2千円 ・その他使用料及び賃借料(中継ポンプ通報 装置等)268千円 ・修繕費 702千円 2 処理場費 計 10,038千円 ・電気料金 2,859千円 ・水道料金 28千円 ・電信電話料 36千円 ・委託料(維持管理業務等) 6,921千円 ・修繕費 194千円 3 管渠建設改良費 288千円 4 処理場建設改良費 542千円
60	継続	ガス水道局 施設整備 課 南部営業 所	浄水場運転管理業務	牧区	2,973	2,831	△ 142	○水源の清掃業務 堆積した土砂の排除及び清掃業務 ○導水管路の草刈り業務 水源から浄水場への導水管路の草刈 り、倒木処理業務 ○水源進入路の保全業務 水源進入路の敷砂利による保全業務 ○牧浄水場の過砂上げ業務 No1～4ろ過池のろ過砂の表層部を切削 除去 ○除雪業務 牧浄水場の除雪作業
61	継続	ガス水道局 施設整備 課 南部営業 所	浄水施設維持管理業 務	牧区	0	11,748	11,748	○牧浄水場改修 ろ過池屋根の改修工事(R4、R5) カバールーフ151.1m2他 ○牧浄水場ろ過砂入替 No3,4ろ過池へろ過砂を補充
62	継続	ガス水道局 施設整備 課 南部営業 所	配水施設維持管理業 務	牧区	1,141	2,540	1,399	○ポンプ室電気設備保安管理業務 ポンプ場の非常用発電設備の点検業務 ○配水管路の草刈り業務 高尾地内他の配水管の草刈り、倒木 処理業務 ○減圧弁分解点検業務 宮口地内、東松ノ木地内に設定されて いる減圧弁の分解点検業務
63	新規	ガス水道局 施設整備 課 南部営業 所	配水施設更新事業	牧区	0	14,621	14,621	○高区配水池設備更新 次亜滅菌設備、流量計、水位計、高感 度濁度計の更新 ○低区配水池設備更新 水位計の更新
市民生活・福祉グループ					119,339	116,284	△ 3,055	
1	継続	福祉課	民生委員・児童委員活 動費	牧区	615	615	0	○委員(11人分)の活動を支援し、要配慮 者を始め支援を必要とする市民が住み慣 れた地域で安心して暮らせる社会を実現 する。 ・活動報償金 608千円 1人 55,200円/年 ・会長加算 7,000円/年
2	継続	高齢者支 援課	敬老祝賀事業 ・敬老会	牧区	689	695	6	○長年地域に貢献してきた高齢者へ、市 と地域が感謝の意を表し長寿を祝福する とともに、敬老会を実施することで、地域 や参加者同士の交流や高齢者の閉じこも り予防を図る。 ・1,300円/人

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
3	継続	高齢者支援課	ゲートボールハウス等 管理運営費 ・牧ゲートボール場	牧区	12	13	1	○ゲートボールハウス等の施設設備を適切に維持管理し、高齢者の健康保持と仲間同士の交流の場を提供するとともに、高齢者の生きがいがづくりに寄与する。
4	継続	高齢者支援課	老人クラブ助成事業	牧区	594	477	△ 117	○老人クラブ及び老人クラブ連合会の事業費の一部を助成することにより、老人クラブの活動を支援する。 ・連合会加入団体 3,500円/月+450円/人 ・連合会未加入団体 1,500円/月+150円/人
5	継続	高齢者支援課	生きがいと健康づくり 推進事業	牧区	183	154	△ 29	○スポーツや趣味活動などを通し、高齢者の仲間同士の交流や市民との交流を深め、高齢者の健康増進と生きがいがづくりに寄与する。 ・シニアスポーツ大会 87千円 ・シニアゲートボール大会 67千円
6	継続	高齢者支援課	ふれあいランチサービス事業	複数区	764	732	△ 32	○ひとり暮らし高齢者等にバランスのとれた食事を提供するとともに、配達時に直接手渡すことにより定期的な安否確認を行い、高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるように支援する。
7	継続	高齢者支援課	生活支援ハウス運営費 ・牧高齢者等福祉センター	牧区	3,647	5,560	1,913	○冬期における自宅での生活に不安のある高齢者等に対し、共同で生活できる場を提供することにより、安心して健康的な生活を送れるよう支援する。 ・部屋数 10室 ・外壁修繕 ・会計年度任用職員報酬 ・燃料費 ほか
8	継続	保育課	公立保育所運営費 ・牧保育園	牧区	1,122	(140) 0	(△982) △ 1,122	○就労、病気その他の理由により、日中、家庭において保育することができない保護者に代わり児童を保育し、保護者が安心して子どもを預けられる環境を整える。 【R4年度前倒し実施済】 ・マンホール周辺排水修繕 58千円 ・備品購入 洗濯機 64千円 ・備品購入 サーキュレーター 18千円
9	継続	こども課	児童遊園管理運営費	牧区	114	171	57	○児童に健全な遊びの場を提供し、地域における子育てを支援する。 ・はばたきの丘児童遊園 9千円 ・牧児童遊園 162千円
10	継続	地域医療推進室	牧医科診療所	牧区	61,023	61,023	0	○国保診療所を開設することにより、中山間地やへき地における地域医療を確保し、地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図るとともに、市内の病院と連携し、市民生活の安全・安心を確保する。
11	継続	地域医療推進室	牧歯科診療所	牧区	45,866	41,863	△ 4,003	○国保診療所を開設することにより、中山間地やへき地における地域医療を確保し、地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図るとともに、市内の病院と連携し、市民生活の安全・安心を確保する。
12	継続	高齢者支援課	一般介護予防事業 ・通いの場(よろばたの会・認知症カフェ)	牧区	4,710	4,981	271	○高齢者が気軽に集い交流を行うことにより、閉じこもりや心身の機能低下を予防し、介護予防につなげる。 ・送迎車燃料代、講師代等は実績による増減がある。

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
13	継続	高齢者支援課	地域包括支援センター運営事業	複数区			0	○高齢者や障害者等が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、介護、医療、生活支援、介護予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進を図る。 ・浦川原包括ヘー括 40,451千円 区毎の積算なし
教育・文化グループ					30,728	38,577	7,849	
1	継続	学校教育課	放課後児童クラブ運営費	全域			0	○昼間、保護等が不在となる家庭の児童に対して、遊びを主とする活動の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。 市全体事業費：454,192千円 区毎の積算なし
2	継続	学校教育課	スクールバス等運行事業	牧区	15,566	18,800	3,234	○公共交通の利用が困難な遠距離通学する児童生徒の通学手段及び安全の確保を図るため、スクールバスを運行する。
3	継続	教育総務課	教員住宅管理運営費	複数区			0	○市立小中学校に勤務する教職員等の公営住宅施設として維持管理を行い、居住環境を整える。 市全体事業費：2,672千円 区毎の積算なし
4	継続	教育総務課	小学校市単独事業	牧区	3,883	2,253	△ 1,630	○学習形態の多様化に対応した教育施設の改善と子どもたちの安全・安心を図るため、経年劣化する施設・設備を改善し、教育環境を整備するもの。 ・既設エアコン更新 (保健室、コンピューター室)
5	継続	教育総務課	小学校施設管理費 (学校整備工事費除く)	全域	0	0	0	○危険箇所や不具合箇所等の修繕及び学校警備委託などを行い、施設の維持管理を実施する。 市全体事業費：807,460千円
6	継続	教育総務課	小学校施設管理費 (学校整備工事)	全域	0	0	0	○法令に基づく定期点検の結果等により法令適合のための改修を実施し、生徒の安全・安心の確保及び快適な教育環境の整備を図る。 市全体事業費：3,583千円
7	継続	教育総務課	小学校管理事務費	全域			0	○効率的な学校運営を行うために必要な教育環境の整備(機器借上げ、物品購入等)を実施する。 市全体事業費：117,747千円 区毎の積算なし
8	継続	学校教育課	小学校教育用コンピュータ設置事業	全域			0	○情報化時代に生きる児童が活用する教育用コンピュータとネットワーク環境を整備し、授業での活用を通して児童の情報活用の基礎的な力を育てる。 ○GIGAスクール構想にて導入した児童1人1台端末を活用し児童の情報活用能力の向上を図る。 市全体事業費：251,666千円 区毎の積算なし
9	継続	教育総務課	中学校施設管理費 (学校整備工事費除く)	牧区	0	2,574	2,574	○危険箇所や不具合箇所等の修繕及び学校警備委託などを行い、施設の維持管理を実施する。 ・高架タンク送水ポンプ ポンプユニット入替工事 市全体事業費：407,795千円

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
10	継続	教育総務課	中学校施設管理費 (学校整備工事)	全域	0	0	0	○法令に基づく定期点検の結果等により 法令適合のための改修を実施し、生徒が 安全・安心に学校生活を送ることができる 教育環境を維持する。 市全体事業費:622千円
11	継続	教育総務課	中学校市単独事業	牧区	0	1,392	1,392	○学習形態の多様化への対応や、経年 劣化した施設及び設備の改善を図り、生 徒が安全・安心に学べる環境を確保す る。 ・駐車場、校内通路のアスファルト舗装補 修
12	継続	教育総務課	中学校管理事務費	全域			0	○効率的な学校運営を行うために必要な 教育環境の整備(機器借上げ、物品購入 等)を実施する。 市全体事業費:50,114千円 区毎の積算なし
13	継続	学校教育課	中学校教材費	全域			0	○学校の要望を開きながら、学習に必要な 教材消耗品及び教材備品・図書を購入 し、教育内容の充実を図る。 市全体事業費:47,326千円 区毎の積算なし
14	継続	学校教育課	中学校教育用コン ピュータ設置事業	全域			0	○情報化時代に生きる児童が活用する教 育用コンピュータとネットワークかんきょう を整備し、授業での活用を通して生徒の 情報活用の基礎的な力を育てる。 ○GIGAスクール構想にて導入した児童1 人1台端末を活用し生徒の情報活用能力 の向上を図る。 市全体事業費:54,418千円 区毎の積算なし
15	継続	学校教育課	生活習慣病予防教育 推進	全域			0	○学校における児童生徒の生活習慣予 防教育を推進するため、健康課題の検討 や血液検査を行う ・血液検査 市全体事業費:5,934千円 区毎の積算なし
16	継続	社会教育課	青少年教育活動事業	牧区	194	194	0	○青少年の健全育成にかかわる団体に 補助金を交付し、活動の活性化を図ること により、青少年の健全育成を推進する。 ・牧っこを育てる会 194千円 (※上越市青少年育成会議協議会経由で交 付)
17	継続	社会教育課	公民館事業	牧区	412	434	22	○「学びの輪が人を育み地域を支えるま ち」をキーワードに、市民の学びの輪から 次世代に地域活動の担い手となるような 人材を育むことを目標とした事業を中心 に実施する。
18	継続	社会教育課	公民館管理運営費	牧区	294	293	△1	○地域住民が安全安心かつ快適に利用 できるよう牧地区公民館の適切な管理運 営を行う。
19	継続	社会教育課	公民館図書室事業費	牧区	99	93	△6	○地域住民が、公民館で身近に本を手 取る機会を提供できるように図書資料を 充実を図る。 ・図書購入費 82千円 ・図書整理消耗品費 11千円

No	区分	担当課	(事業名) 個別事業名	区域	令和4年度 当初予算 (千円)	令和5年度 当初予算 (千円)	比較 (千円)	事業目的や事業概要 (事業内容、対象等)
20	継続	文化行政課	歴史民俗資料館管理運営費	牧区	2,652	3,890	1,238	○宮口古墳群からの出土品を始め、歴史・民族資料を適正に保管管理するとともに、市民に公開する。 ・開館時期 4月～11月 ・開館日時 土、日、休日 9時～16時 ・宮口古墳公園トイレ手洗い器自動水洗化修繕工事 ・展示物リフトオイル漏れ修繕 ・牧歴史民俗資料館屋根修繕工事 ・牧歴史民俗資料館側草刈管理委託業務ほか
21	継続	文化行政課	文化財保存整備費	牧区	529	529	0	○県下最多を誇る365件の指定文化財の適切な保存・伝承に努めるとともに、計画的に新たな指定を行うことにより適切な保護を図り、活用を促進する。 ・高尾町内会(琴毘沙神社大ケヤキ) 16千円 ・小川町内会(風巻神社大杉) 13千円 ・宮口古墳公園管理業務委託 500千円
22	継続	スポーツ推進課	学校体育施設開放事業	全域			0	○小・中学校の体育館施設を学校運営に支障のない範囲で市民に開放する。 ・施設鍵管理費 市全体事業費:9,576千円 区毎の積算なし
23	継続	スポーツ推進課	一般スポーツ活動推進事業	牧区	138	138	0	○ライフスタイルの変化等に伴い、健康に対する運動の必要性の意識が高まっていることから、市民一人ひとりが明るく健やかな生活が送れるよう、スポーツを通じて健康と体力の増進を図る。 ・牧体育祭補助金 138千円
24	継続	スポーツ推進課	体育施設管理運営費	牧区	6,961	7,247	286	○安全かつ快適なスポーツ環境を提供し、スポーツ活動の普及促進と競技力の向上を図る。 ・牧プール、牧体育館管理運営費
25	新規	社会教育課	【地域独自予算】 「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業(補助) 実施主体:牧文化協会	牧区	0	113	113	○生涯学び続けることの楽しさを伝え、文化活動参加者及び鑑賞者の裾野を広げることを目的に、牧文化協会主催による「夢まつり」を開催する。
26	新規	文化行政課	【地域独自予算】 宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業(委託) 実施主体:市 提案:宮口古墳花の会	牧区	0	385	385	○宮口古墳公園を活用し交流人口の拡大を図るほか、幅広い世代の憩いの場となるよう、花壇等の植栽やイベントをはじめ、丘陵部にある古墳群の周遊を図る遊歩道等の維持管理を行い、古墳群や資料館への誘客を促進する。
27	新規	文化行政課	【地域独自予算】 郷土芸能伝承・保存事業(補助) 実施主体:牧文化協会	牧区	0	242	242	○古くから伝えられてきた郷土芸能(盆踊の古代詩、ヨイヤナ等)の伝承活動と合わせ、記録保存活動に取り組み、次世代へ継承することで地域への愛着を高める。

令和4年度『灯の回廊』開催結果について

- 日 時 令和5年2月25日（土）17:00～21:00
- 会 場 牧区、安塚区、大島区、浦川原区、高士地区、名立区
- 主 催 牧まちづくり実行委員会、安塚キャンドルロード実行委員会、
大島雪ほたるロード実行委員会、うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、
高士地区雪まつり実行委員会、輝く里不動の会、上越市
- 来場者数 14,380人
 (内訳) まき深山のともしび 1,650人
 安塚キャンドルロード 5,050人
 大島雪ほたるロード 1,350人
 うらがわら雪あかりフェスタ 2,900人
 高士ルミネ 3,000人
 不動ミニキャンドルロード 430人

【参考】

- ・令和元年度 9,220人（小雪）
- ・令和2年度 7,970人（コロナ禍）
- ・令和3年度 11,930人（コロナ禍）

【参加者の声】

- ・東京牧村会では3年ぶりに参加し、雪原に並んだキャンドルパークの光に感激した。故郷から元気をもらい感謝しています。
- ・コロナも落ち着いて、初めて見に来ました。とても幻想的で特に花火がすばらしかったです。（神奈川県川崎市より参加）
- ・打ち上げ花火を近くで見られたので、迫力があつた。

【牧区会場別入込人数等】

(人)

	会場名	場所	R1	R2	R3	R4
1	ふるさと村	池舟	0	400	500	550
2	川上笑学館 (茶屋は中止)	切光	0	0	0	0
3	深山茶屋	牧湯の里深山荘	270	300	150	200
4	棚広茶屋 (茶屋は中止)	棚広	300	0	0	0
5	牧っこ茶屋	コミプラ前	800	500	800	900
小 計			1,370	1,200	1,450	1,650
	作成スタッフ	牧区全域	200	590	600	540
合 計			1,570	1,790	2,050	2,190

学校適正配置に係る小学校保護者と牧区地域協議会との懇談会記録

日 時 3月7日（火）午後4時15分～午後5時15分
場 所 牧小学校 ランチルーム
参加者 地域協議会（西山会長、飯田副会長、佐藤委員、井上委員）
オブザーバー 総合事務所（山岸所長、小林次長、佐々木グループ長、藤井班長）

○開 会（井上委員）

○会長挨拶

- ・現在、地域協議会では牧区の課題について議論し大きく3つの項目に整理された。「子育て・学校の問題」「農業・林業」「高齢者の外出支援」の議論を進めている。
- ・地域協議会委員も高齢化により実際に子育てしている方の話を聞く機会がない。本日このような場を設けていただき、有意義な時間としたいので忌憚のないご意見をお願いしたい。

○意見交換（自己紹介及びアンケートの内容から感想、意見、疑問、希望等）

【佐藤委員】

- ・「ととろのおはなし会」で小学校にお邪魔したとき、おはなし会の途中でキツネが現れたり羊が小屋から脱走したり…そんな自然の中でいきいきと学校生活を過ごしている姿に本当に良い環境だなあと感じた。
- ・統合についてのアンケート結果を拝見し、平成元年に宇津小学校が牧小学校へ統合したときのことを思い出した。統合の2、3年前から準備を始めた。
- ・学校が無くなった後の地域をどうするか。と意見があり、跡地利用委員会を立ち上げた。現在、校舎の跡地は食品加工所、地域の集会所、避難所として利用している。
- ・今後のことを急ぐ訳ではないが、子どもたちのため、そして保護者が安心して通わせることができるよう納得のいく協議を進めて欲しい。

【西山会長】

- ・数年前まで、スクールバスの運転手をしていた。過去には牧小同窓会長もさせていただいていたため、学校に対して思い入れがあり複雑な心境で現在の様子を見ている。
- ・大島、浦川原、安塚の中学校統合の話が出ているが、牧区は合併前から東頸城の中では、馴染みが薄かったように思う。上越市との関わりのほうが強かった。
- ・統合となった場合は、合併前上越市方面なのかなと個人的には思うが、皆様のご意見をお聞きしたい。

【飯田副会長】

- ・53年前に牧小学校を卒業した。
アンケートを拝見して、学校が無くなるとますます地域に人がいなくなると切羽詰まった意見があった。保護者の皆さんが真剣に考えておられることに頭が下がる思いである。
- ・適正配置にすることは、牧は三和や板倉と違い地域（区）に学校が無くなる可能性がある。
やはり保護者の皆さんが、思いをそして話し合いの中で少しずつ少しずつ前に進めなくては行けないと個人的に思っている。
保護者の皆さんがどのように思われているのか、お聞きしたく本日出席した。

【井上委員】

- ・高校卒業と同時に牧を離れ、東荒井の団地ができたときに帰ってきて、30年が経つ。牧に帰ってきた大きな理由は、ここで子育てをしたかった。自分と同じ学校に子どもを通わせてかった。
- ・今、統合や適正配置という話がでていますが、中学校までは子どもと関わる。関わって過ごすことが大事だと思う。
- ・仮に統合した時、距離が遠くなる。アンケートの中でも、距離が遠くなることへの不安があった。適正配置とは何なのか。皆さんがどのように考えておられるかお聞きしたい。

○フリーターキング

■統合について、賛成、反対、迷っている。どんなことでも良いので発言を依頼。

【保護者】

- ・統合に賛成

アンケートには記載されていないが、今後小学校入学する人数は2023年2人、2024年1人、このことから、牧区から学校を無くしたい訳ではない。子どものことを思えば統合はやむを得ないのかなと思う。

正直、牧以外の小学校、中学校に通わせることも考えたが、統合の話が出ている最中であつたので、牧区に住んでいることもあり牧区の学校に決めた。

【保護者】

- ・統合に賛成

子どもの人数が少ないことで淋しい思いをしている部分がある。部活動に関しても、人数が少ないことで選択肢がない。

人数が少ないことで、先生の目が行き届いて良いところもある。自然溢れる牧区で子育てができることは大変良いことだと思うが、人数が少なくなったことの弊害のほうが大きい。

通学による距離の問題があるので、フォローを考えなくてはいけないと思う。

【保護者】

- ・統合に賛成

自身は沖見小学校出身、牧中学校に通学

人数が少ないことが悪影響となり社会に馴染めないのではないか。多くの人数の中で成長ができるように思う。

牧区（地域）を嫌いな人はいないと思う。統合して学校が無くなっても、牧から子どもがいなくなる訳ではない。

牧から通学することで距離が長くなるので、そこはサポートするかたちで地域から離れないように盛り上げていくようにしたい。牧へ卒業後戻れるように。

【保護者】

- ・統合に賛成

アンケートの結果、半分以上が統合に賛成している状況で、なぜ、統合に向けてスタートしないのか？ 統合に判断しないのはなぜか？

【総合事務所：山岸所長】

- ・アンケートで6割が統合に賛成という結果について、統合に進めるような方向ではあるが、4割の方が迷っている。判断できない。という状況である。賛成が8割9割ではない。

統合について、わからない。という方の中には不安なことやデメリットを気にされている方もいるので、不安を取り除くことで、判断ができるようになるかと思う。

- ・年度代わりでこれから新年度になるとPTA役員や保護者も代わるかと思う。今は躊躇しているのではなく、令和5年度の新体制になったところで新しい動きがあるので、その際は保護者の皆さん全員のご協力をお願いすることになる。

【保護者】

- ・統合についてどちらでもない。

地域おこし協力隊として4月に東京から移住。

移住して早々に統合の話があり寝耳に水。という感想を受けた。

地域協議会委員の方から、賛成か反対かという流れになったので自分の考えを伝えさせてもらう。

移住と同時に子どもが就学。子どもには、親とは違う環境で過ごして欲しいという思いから牧区に決めた。

移住早々のアンケートだったため、「どちらでもない」とした。

- ・そもそも、「適正配置とは何なのか」

1番は子どもが学校で何をするか。⇒ 学校は「学ぶ」ところ

人数や環境に応じて学ぶものだと思う。

コロナにより大人の働き方も変わり、子どもが親世代になったとき、これからの時代、学校そのものが変わっていく可能性もある。

必ずしもこの人数でないとダメ。学校という場所でないとダメ。なのか、子どもがどのように学びどのように成長していくのか。どう成長するかは子どもなのだ。

もう一度考えたほうが良いと思う。

「学校とは何か」「子どもとは何か」皆で考えるのも一つだと思う。

親として、どういう風に子どもを考えることができれば、良い方向に進んでいける。

○協議の振り返り

- ・所定の用紙に保護者から感想や意見の記入を依頼

○閉会（飯田副会長）

- ・初めて保護者の気持ちを、地域協議会委員が聞かせていただくことができた。

もっと早くこのような機会ができたなら良かったなと思った。

本日は大変ありがとうございました。

令和5年度 牧区地域協議会年間スケジュール（案）

日 時	内 容
4月18日（火） 18時～	【定例会】第1回牧区地域協議会
5月23日（火） 18時30分～	【定例会】第2回牧区地域協議会
6月20日（火） 18時30分～	【定例会】第3回牧区地域協議会 ○地域協議会だより発行
7月18日（火） 18時30分～	【定例会】第4回牧区地域協議会
8月22日（火） 18時30分～	【定例会】第5回牧区地域協議会 ○地区懇談会（8月上旬予定）
9月19日（火） 18時30分～	【定例会】第6回牧区地域協議会
10月24日（火） 18時30分～	【定例会】第7回牧区地域協議会 ○4区合同研修（10月上旬予定）
11月21日（火） 18時～	【定例会】第8回牧区地域協議会 ○視察研修（11月上旬予定）
12月19日（火） 18時～	【定例会】第9回牧区地域協議会 ○地域協議会だより発行
1月23日（火） 18時～	【定例会】第10回牧区地域協議会
2月20日（火） 18時～	【定例会】第11回牧区地域協議会 ○地域協議会だより発行
3月19日（火） 18時～	【定例会】第12回牧区地域協議会